

先月の豪雪は落ち着きましたが除雪が進まず四苦八苦の札幌市内です。最近話題になっている北海道ボールパークが来年3月完成に向けて徐々に形が出来つつあると聞き、ご紹介致します。

プロ野球・日本ハムファイターズは札幌ドーム球場という札幌市のスタジアムを使用していましたがこの度、自前でスタジアム建設を行い『札幌ボールパーク』と言うスタジアムを含めた街づくりに挑戦しています。

スタジアムを中心にマンション・農園・川遊び等々複合施設を備えた街のようなイメージで、所在地としては札幌市の隣北広島市となります。

スタジアム名は『エスコンフィールド北海道』。天然芝で開閉型のドーム球場を中心に複合施設を含めた街づくりとなっており、野球に関係なく人々に来てもらい楽しんで頂き、日本ハムの試合にも立ち寄って観戦してもらうようなイメージのようです。

今回は工事中での紹介でしたので、来年3月に完成しましたら改めて紹介させていただきます。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

群馬県富岡市にある世界遺産『富岡製糸場』へ行ってきました。明治政府が近代化に向け設立した官営工場で、敷地面積約55,000㎡(約16,000坪)という広さになります。

世界遺産ですから当時のまま現存されているのですが、昭和62年に操業停止するまで動いていたとのことで何となく近代的な雰囲気も感じることができます。曜日によっては実演を見ることができ、なんだかんだで、2~3時間ほど滞在していたかと思えます。

外観は正に明治です。個人的には大正時代の建物や服装とかの方が好みなのですが、ただやはり昔の日本の歴史物は観て聞いて触れると、心がドキドキワクワクし、ロマンを感じます。世界遺産に対していささか失礼ですが、一見の価値ありと言わざるを得ない、まさにそういった建造物で感動しました。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



## 世界の拠点から

-From the base in the world-



春になり気温も上がってきてコロナの感染も収まりつつあります。地域によっては感染再拡大の兆候も見られるので、まだまだ気を緩める事は出来ませんが平常の生活に戻り始めています。

この時期、桜の花が満開のため感染対策をしながら花見の出来る所へGO。今回は大阪府狭山市の『狭山池公園』に行きました。狭山池は大きなため池ですが、『日本の歴史公園100選』にも選定されていて、何と古事記や日本書紀にも記述があり、日本最古のため池と言われております。最古とはいうものの、池の周囲は整備されていて周りの堤防にはアスファルトで舗装された歩道があり、その周りに約1,400本の桜が植えられています。

桜満開の休日、渋滞を抜けて無料駐車場に入るも、すぐには駐車することはできません。やっとの思いでクルマを駐車。外周は3kmあるので遠くの桜は小さく見えます。ゆっくり桜を眺めながら歩く。遠くにはPLの塔(大平和祈念塔)も見える。歩きでも一周すると運動になる良い散歩コースだと思いました。



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は岐阜県のせせらぎ街道を紹介いたします。

この道は、岐阜県郡上市八幡町城南町から郡上市明宝地域を抜けて、高山市清見町までのおよそ64kmの道路の愛称で、飛騨せせらぎ街道とも呼ばれています。

岐阜県飛騨地方の中で江戸時代の面影を残している観光客の多い飛騨高山と郡上八幡の二つの町をつなぐ道で、標高差がおよそ700mある山岳ルートです。東海北陸自動車道が飛騨清見インターまで開通するまでは、交通量の多い主要アクセス道路でしたが、開通後は交通量が減少傾向のようです。(確かに高速道路ができるまでは、何度か通った記憶がありますが...)

街道の最高点の西ウレ峠(太平洋と日本海の分水嶺)付近では、シラカバ・カラマツなどの林も見られ、秋には山から麓へかけて紅葉を見ながらのドライブを楽しめます。これからの春から夏にかけては涼しさを感じることができそうです。

高速道路を使って早く行けるのも良いですが、この街道をゆっくりドライブしてみるのも良いかもしれません。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

立ち寄った道の駅でずらっと並んでいるタケノコを見て、「春だなあ」と感じた私。太ることしか考えられないと落ち込んだ今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、博多駅にて用事を済ませた帰りに、気になっていたベーカリーカフェに行ってきました。そのお店の名前は『パンとエスプレッソと博多っ』です。実はこの『ムーめんたい』がとても美味しいと評判だったので、一度は食してみたいと妄想ばかり膨らんでいました。混雑を避けるためにお昼時から時間をずらしたこともあり、スムーズに入店。意気込んで『ムーめんたい』なるものを食す予定だったんですが、メニューを見ていると『サバのパニーニ(サバサンド)セット』がどうしても気になってしまい注文(汗)。運ばれてきたサバサンドは意外に大きく、中にはサバがゴロっと入っています。味はカレーに少しレモンの風味。これも意外でしたが、サバとカレーとレモンは思っている以上に組み合わせが良く、癖になりそうな美味しさでした。

ちなみに『ムー』とはフランス語で『やわらかい』という意味らしいです。食パンをお持ち帰りして食べましたが、ものすごく柔らかく、ふんわり、しっとり、もちりという感じでした。

次回はサバの魅力に負けず、『ムーめんたい』に挑戦してみたいと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)



4月3日からイスラム教の断食が始まっています。約一か月間断食をします。断食が終わればレバランというお祝いをする。そのため、多くの人々は両親や親戚に会うため、帰省します。インドネシアでは2019年から新型コロナウイルスが広まり、人の移動、その中でも帰省は禁止されていました。今年はある程度感染状況が落ち着いたため、色んな制限はありませんが帰省許可が政府から発表されました。

その制限の中には今までに無い、『高速道路を通る車は、その時の日付が偶数が奇数によって、車のナンバープレートの末番も同じ偶数が奇数ではないといけない。』というものがありました。例えば帰省する日付が17日であれば、車のナンバープレートの末番は奇数でないといけません。結果として、高速道路はあまり混雑せず、スムーズに帰省できます。この制限はレバラン日(5月2日か3日)の三日前からですが、この制限が適応される前に帰省する人が増えるのではないかと思います。ちなみにレバラン休日でも帰省する人数は、政府のデータによるとコロナ禍前は平均3千万人です。

今年は2年ぶりなので予想としては、2~3倍になると言われています。政府はこの規制緩和で国民がどこまで感染予防できるか、この後の感染状況を見ながら判断していくのではないかと思います。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～イケメンの上海人～

空から見下ろすと『上』の文字をモチーフにしたコース形状の上海国際サーキットは上海の嘉定区に位置し、KHEからもわずか1時間の距離です。2004年4月に完成後、同年9月に中国で初めてF1レースが開催されました。新型コロナは世界各国のF1開催日程へも大きく影響を与えていますが、中国ではF1人気年々高まっています。それは2022年に中国初のF1ドライバーが誕生したことでさらに急加速しています。

周冠宇。まだ22歳のイケメンの上海人です。彼は2021年まではアルピーヌF1チームの開発ドライバーを務めていましたが、2022年シーズンからアルファロメオ・レーシングと契約、史上初の中国人F1ドライバーが誕生しました。そして去る3月20日に開催されたバーレーンでのF1グランプリで周選手が10位に入賞しポイントを獲得、中国では歴史的快挙として大きな話題になりました。ゴール後マシンを降りた周選手は目に涙を浮かべ、チームと喜びを分かち合うシーンが感動を呼びました。

2022年はコロナによる渡航規制のため残念ながら上海での開催は見送られましたが、状況が正常化すれば、2023年以降の再開が見込まれています。F1界にも中国からスターが登場し将来、周選手が表彰台に立つ日が見られるかもしれません。今後の活躍に期待です。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

天気も良くなってきている時期だと思われそうですが、いかがお過ごしでしょうか?ここカリフォルニアは1年を通じて暖かく季節感があまりないですが、今期は例年に比べて雨が少なくて、コロナ禍で気晴らしに外出する際、天気を気にしなくて済むので良いのですが夏以降の水不足が心配です。

さて雨の心配もないので、先日友人達に誘われてアメリカ男子ゴルフツアーのジェネシス招待のトーナメントを観に行ってきました。このジェネシス招待は大会名が何度か変更になっていますが、ロサンゼルス郊外にある名門リビエラカントリークラブで毎年開催されています。ゴルフ好きの方はニッサン・オープンと言う呼び方に馴染みがあるかもしれませんね。この大会はタイガー・ウッズがアマチュア時代に初めてPGAツアーに出場した大会でもあり、2020年からはタイガー本人が主催者となっています。昨年の大会では終了後、交通事故に遭った大きな

ニュースになったのを覚えている方も多いのではないのでしょうか?!

カントリークラブ自体がサンタモニカの住宅街に所在する事もあり、当日は車を駐車場に置き、チャーターバスにて移動しました。ワクチン接種証明の提示と荷物チェックを終え、入場しました。我々が行ったのは最終日ではありましたが、早い時間だったこともあり、想像していたほどの混雑はありませんでした。

日本からは松山選手が参加していましたので、事前の計画通りに彼の組を中心に観て回りました。残念ながらこの大会で松山選手は、上位で優勝を争うポジションには居ませんでしたが、身近で見ることが出来てとても良かったです。松山選手以外にも有名なジャスティン・トーマス、ローリー・マキロイ、コリン・モリカワ選手などのプレーも見ることができて感激しました。やはり『生』でプロ選手のスイングを見るのは迫力ありますね!

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

人々が旅行を制限されてから2年以上が経ちました。今日では多くの国が渡航者(ビジネス、観光客)を歓迎するために国境を開いています。これは、再び世界中を旅することを後押しする非常に前向きなニュースです。

旅行制限中、人々はパスポートの有効期限が切れても気にせず、更新もしませんでした。ですが最近の国境開放により、多くの人々がパスポートの更新をしようとしたため、入国管理局は問い合わせを処理するために忙しくなりました。通常、パスポートの更新は1週間以内に終わるものですが、現在は4~6週間かかります。

同じようなことが航空券予約にも当てはまります。過去に発行したものの、パンデミックのために飛べなくなってしまう航空券を変更するため、航空会社のオフィス前には列が作られています。ですがほとんどの場合、航空会社の担当者から呼び出されるまでに2~3時間待つ必要があります。

私は今後数ヶ月で、より多くの人々が旅行へ行くことを期待しています。そして空港は以前のように、多くの人で賑わうことが当たり前になるでしょう。しかし、マスクは依然として自己防衛のために重要になります。安全を保ち、体調には十分注意してください。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

戦争が始まって以来、オランダの自治体にウクライナから27,000人以上の難民が登録しており、難民の大半は女性と子供で構成されています。

オランダは現在、家を探している人の数に対して十分な住宅のストックがありません。2022年までに約28万戸の住宅が不足していると推定されており、これは人々が自立したり、移動したりすることを困難にします。

住宅不足のため、ホームレスになっている人や家が見つからず別の世帯との同居を余儀なくされることも多くあります。新しい家が絶えず建てられ、オフィスやショップが家に変えられていますが世帯数が急速に増加しているため、それだけでは需要に追いついていくことができません。移民も需要増加の要因です。もちろん、戦争の場合、私達は人々を助けるために連帯と支援を示さなければなりません。

しかしオランダは、パンデミック、住宅・年金・インフレ・気候危機など様々な問題に直面しています。オランダはヨーロッパで最も裕福な国の一つですが、悲しいことにここにも貧困があります。オランダでは100万人強が貧困線以下の生活を送っています。オランダの貧困は増加し、一時的または長期的に貧困にあえぐ人々の数は増加しています。幸いにも、一時的に食料パッケージを提供することで、本当に経済的に苦しんでいる人々を支援するフードバンクからの助けがあります。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)